

「公立大学法人横浜市立大学 Tele-ICU システム構築業務委託」  
公募型プロポーザル特定結果について

「公立大学法人横浜市立大学 Tele-ICU システム構築業務委託」について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定しました。

令和元年 9 月 30 日の「提案書」締切までに 1 社の応募があり、令和元年 10 月 2 日に「Tele-ICU システム構築業務プロポーザル評価委員会（以下、「評価委員会」という）」を開催し、提案者によるプレゼンテーションを実施しました。

評価委員会での評価の結果を受け、横浜市立大学附属病院第二契約審査会（令和元年 10 月 11 日）にて、受託候補者として特定しました。

**1 契約の相手方**

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

**2 評価結果**

提案者	評価点数
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	2649 ／ 3500

※評価委員 7 名（全員出席）

※評価委員会事務局：医学・病院統括部総務課システム担当

**3 評価基準**

別紙参照。

## Tele-ICUシステム構築業務委託に関するプロポーザル評価基準

No	大項目	中項目	審査の視点	配点
1	基本方針に対する姿勢	①ユーザビリティの追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務運用を考慮した画面構成、画面デザインであるか。</li> <li>・業務運用を考慮したシステム・機器構成となっているか。</li> <li>・連携先施設のICUへの患者入室から、支援センターでの遠隔モニタリング、連携先施設のICUからの退室までの一連の操作がスムーズに行える操作方法であるか。</li> <li>・Tele-ICUの業務運用や思考過程を考慮した設計がなされているか。</li> </ul>	20 100
2		②他地域や他施設への展開を見越したシステム構成・連携仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域や他施設への展開を見越したシステム構成・連携仕様・画面設計指針等の提案がされているか。</li> <li>・既設システムとの連携方法について、具体的かつ妥当な提案がされているか。</li> <li>・新たな連携先施設へ連携する際に、支援センター及び連携先施設の負担が低減される、具体的かつ妥当な提案がされているか。</li> </ul>	10
3		③医療安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全への配慮に係る具体的かつ妥当性のある提案がされているか。</li> </ul>	20
4		④運用負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの稼働状況・利用状況の確認など、Tele-ICUシステムの管理に関する運用負担を軽減する具体的かつ妥当性のある提案がされているか。</li> </ul>	10
5		⑤拡張性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tele-ICUシステムが、データ項目の増加、連携先施設・監視対象病床の増加、機能拡張等に対応できる拡張性を有する仕組みを提案しているか。</li> </ul>	10
6		⑥情報セキュリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託者が情報セキュリティの第三者認証を有しているか。</li> <li>・Tele-ICUシステムの構築及び保守業務における情報セキュリティ対策の提案がされているか。</li> <li>・構築するTele-ICUシステムは十分な情報セキュリティ対策の仕組みを有した提案がされているか。</li> <li>・システム面と運用面の両面から適切な情報管理を行える仕組みが提案されているか。</li> <li>・ガイドライン等に準じた提案がされているか。</li> </ul>	20
7		⑦ライフサイクルコストの低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム整備だけでなく、保守・運用や今後の機器やソフトウェアの更新に係るコストまで含めて、ライフサイクルコストの低減を目指すための具体的かつ妥当性のある提案がされているか。</li> </ul>	10
8	システム構成	①Tele-ICUシステムの全体構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク構成等が具体的に記載されているか。</li> <li>・当該構成を提案する上で考慮したポイントが記載されているか。</li> </ul>	20 100
9		②支援センター側患者モニタリングユニットの構成・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア等が具体的に記載されているか。</li> <li>・提供する機能が具体的に記載されているか。</li> <li>・システム・画面構成・機器構成・機能が業務運用を考慮したものとなっているか。</li> <li>・構成する製品の採用理由が明確かつ妥当であり、本院の要求事項を満たしているか。</li> </ul>	10
10		③連携先施設側患者モニタリングユニットの構成・機能	同上	10
11		④会議システムの構成・機能	同上	10
12		⑤患者撮影システムの構成・機能	同上	10
13		⑥既設システムとの情報共有方式・連携するデータ項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各既設システムとの情報共有方式及び、データ連携する項目が具体的かつ妥当な実現可能なものであるか。</li> </ul>	20
14		⑦ネットワーク等の基盤構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク構成等のTele-ICUシステムの基盤を構成する製品が具体的に記載されているか。</li> <li>・構成する製品の採用理由が明確かつ妥当であるか。</li> </ul>	20
15	システム機能	機能網羅性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能一覧の必須項目を実現可能であるか。</li> <li>・実現不可の項目についても、当該項目の目的・趣旨を理解して、可能な限り現実的かつ有用な実現方法等の提案がされているか。もしくは、代替となる機能の提案がされているか。</li> </ul>	20 40
16		その他提案機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能一覧にない機能のうち有用な機能の提案がされているか。</li> <li>・データ分析機能等、機能一覧にある機能のうち詳細が記載されていない機能について、より具体的に当該機能について記載し、機能の有用性について提案がされているか。</li> </ul>	20
17	プロジェクト実施計画	プロジェクト実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト実施計画が具体的かつ実行可能なものとなっているか。</li> <li>・各工程における作業項目、作業内容、進め方、成果物が適切か。</li> <li>・作業項目とその役割分担が明確であり、その内容が妥当であるか。</li> </ul>	30 70
18		プロジェクト実施にあたっての工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的に業務を進めるための工夫がなされているか。</li> <li>・プロジェクト遂行上想定されるリスクが明示されており、リスクに対する対応策が取られているか。</li> <li>・支援センター及び連携先施設の負担軽減の工夫がなされているか。</li> <li>・診療業務や患者様への影響を最小限に抑えるための工夫がなされているか。</li> </ul>	20
19		スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールが具体的かつ詳細に記載されているか。(3階層以上のWBSが望ましい)</li> <li>・作業項目・期間が明確かつ妥当であり、実行可能なものとなっているか。</li> </ul>	20
20	プロジェクト管理方法	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理・課題・リスク管理、品質管理、変更管理、コミュニケーション管理等のプロジェクト管理手法は妥当なものであるか。</li> <li>・プロジェクトを円滑に進めるにあたり、設置する会議体、その参加者、開催頻度、役割が具体的に示されているか。</li> </ul>	20 20
21	実施体制	体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tele-ICUシステム構築業務の体制(人員数含む)、役割分担、管理方法が記載されているか。</li> <li>・Tele-ICUシステム構築業務の協力企業、委託先の役割分担、管理方法が記載されているか。</li> <li>・業務の実施体制、支援体制が体制図で具体的に示されているか。</li> <li>・Tele-ICUシステムの質を担保するための十分な体制が期待できるか。</li> </ul>	30 50
22		業務従事者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の中心となる統括責任者、技術責任者・業務従事者について、業務実績(担当した主なプロジェクト、プロジェクト実施期間、プロジェクト内での役割等)や資格等により本業務を遂行する上で必要となる経験や知識を示しているか。</li> </ul>	20

No	大項目	中項目	審査の視点	配点
23	保守	—	・保守体制及び運用保守サービス内容が具体的に提案されているか。 ・監視の仕組み、問合せ窓口、障害原因の切り分け手順、障害発生時の連絡方法、障害復旧手順等保守サービスの具体的な内容が記載されているか。	10 10
24	追加提案	—	・その他、支援センター及び連携先施設にとって、有益な追加提案がされているか。	20 20
25	費用	構築費用	・本業務に係る見積金額が内容に見合ったもので、低廉化が図られているか。	10 40
26		保守費用	・保守費用が内容に見合ったもので、低廉化が図られているか。	30
27	業務実績	—	・遠隔医療や地域医療連携システム等、複数の医療機関の情報システム（電子カルテシステム、生体情報モニタリングシステム、重症部門システム、画像管理システム等）が連携する仕組みを、連携・構築した実績を有しているか。 ・本業務と類似の実績を有しているか。 ・医療情報分野の標準化を進める活動実績を有しているか。 ・Tele-ICUシステムの今後の普及に資する医療施設間連携における医療情報の標準化や相互運用性に係る実績を有しているか。 ・その他、Tele-ICUシステムの今後の普及展開等、本事業の実施にあたり有用と思われる実績を有しているか。	30 30
28	プレゼンテーション	—	・プレゼンテーションの内容がわかりやすく、質疑応答への答えが適切かつ明確であるか。 ・本学でTele-ICUシステムの受託をめざしたいその理由や熱意が明確に伝わってくるか。	20 20

合計

500